

情報通知

研究課題名：目標設定が脳卒中急性期患者の日常生活活動に与える影響

研究の実施体制：田邊芽衣、青木江里奈、木本茉佑、関根英哉(沼田脳神経外科循環器科病院)

研究の目的：目標設定はリハビリテーションにおいて重要なプロセスの一つと考えられています (Levack WM et al., 2015). しかしながら、時間的な制約が多い脳卒中急性期において、クライアントとの目標設定の意義は十分に検討されていません. 本研究は、作業療法士と急性期脳卒中患者が目標を共有する機会が日常生活活動 (Activities of Daily Living; ADL) の改善に影響するかどうか調査することを目的としています.

研究の対象：2021年8月1日から12月31日の間に沼田脳神経外科循環器科循環器科病院で入院リハビリテーションを受けた脳血管疾患(脳梗塞・脳出血)患者様が対象となります. 診療録データベースの情報を見返して、情報を集めさせていただきます. 対象となることを希望されない方は、最下部の連絡先までご相談下さい.

収集する情報：対象者の年齢, 性別, 診断名, 既往歴, 家族構成, 目標設定ツール (Aid for Decision-making in Occupation Choice; ADOC), 機能的自立度評価法 (Functional Independence Measure; FIM), 在院日数を使用させていただきます.

情報の保管および破棄, 情報公開の方法：データを解析する段階では、個人を特定できる情報は含まれません. 検査結果はExcelへの出力およびID番号を用いて対応表にて管理します. パソコン・ファイルは施錠可能な室内にて保管します. 研究終了後(令和4年度末)のデータの取り扱いとして、デジタルデータはいかなるソフトウェアでも復元できないようPC上で完全に削除します. 得られた結果については論文あるいは学会で発表することがあります.

見込まれる医学上の貢献：脳卒中急性期患者を対象に、目標設定が日常生活活動に与える影響を検証することができます.

研究に関する問い合わせ先：群馬県沼田市栄町8番地, 0278-22-5052(内線1141)

沼田脳神経外科循環器科病院 リハビリテーション部門 作業療法課

担当者：田邊 芽衣(責任者)